

地域密着型金融の取組み状況【 1】(平成19年4月～平成20年3月)

加茂信用金庫

<p>項 目</p>	<p>ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 経営改善支援</p>
<p>具体的活動</p>	<p>融資部管理課による中小企業再生支援活動 等</p>
<p>取組理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生において最も重要なことは、企業価値が保たれているうちの早期再生と持続性ある事業再構築であり、そのためには企業経営者の意識改革を促し支援していくことが地域金融機関として大切な役割であることから、融資部管理課による中小企業再生支援活動に取り組むことといたしました。
<p>取組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援先の経営改善に取り組むには職員の融資審査能力の向上が重要であるため、目利き研修等を継続して実施いたしました。 ・融資部管理課が主体となり、営業店と連携して支援先に対する経営支援活動を継続して実施し、収益改善に向けた支援活動を行いました。 ・セーフティーネット等、信用保証協会保証制度を有効かつ適切に活用して、地元企業の経営安定化を図りました。 ・商工会議所や商工会の経営指導員と連携を密にし、商工提携保証「アローズ」や「スクラム」、「かもしんきん提携保証 TK- , , 」等を活用して、地元企業の経営改善に取り組みました。 ・「にいがた産業創業ファンド」に出資を行っており、創業・新事業に向けた支援にも取り組んでおります。また、地域産業の特性を踏まえ、情報収集を行いながら、地域に役立つコミュニティビジネスの支援にも協力しております。 ・地方公共団体に対しても、地元金融機関として積極的な支援に取り組んでおります。特に、田上町については平成20年2月まで、加茂市については平成20年4月から「指定金融機関」として公金業務の取扱いを行っており、住民サービスの向上に貢献しております。
<p>成果および今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度は期首債務者数697先から、32先をリストアップし（正常先1先・要注意先27先・要管理先1先・破綻懸念先3先）うち24先については改善計画を策定して経営改善に取り組んでまいりました。 ・平成20年度は経営支援先の見直しを図り、本部と営業店が一体となって支援先の業況把握と改善計画に基づいた進捗状況の管理を行い、支援先の経営改善およびランクアップに取り組んでまいります。 ・支援体制の強化のためには人材育成が重要であり、融資担当者の目利き力・分析能力向上とスキルアップにも取り組んでまいります。

地域密着型金融の取組み状況【 2】(平成19年4月～平成20年3月)

加茂信用金庫

<p>項 目</p>	<p>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み</p>
<p>具体的活動</p>	<p>目利き力・分析能力のレベルアップと担当者のスキルアップ 等</p>
<p>取組理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の様々な経営実態に応じた審査能力の強化を図り、各種手法を活用して取引先企業の支援に積極的に取り組み、金融円滑化の期待に応えていくことが地域金融機関としての使命であるため、目利き力・分析能力のレベルアップと担当者のスキルアップによる人材育成に取り組むことといたしました。
<p>取組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の融資審査能力向上のために、目利き研修等を継続して実施し、スキルアップを図りました。 ・適正な自己査定を実施するために、中堅職員を対象に「金融検査マニュアル：中小企業編」の研修を実施するなど、職員の経験に応じた効果的な研修を実施いたしました。 ・利用者のニーズに適切に対応できる多様な金融手法や、各種事業や業界の知識を持ち企業の目利きができる人材育成をめざし、金庫内研修を実施いたしました。 ・全信協や関信協および県信協が主催する各種研修に積極的に職員を派遣し、目利き力や審査・分析能力の向上を図りました。
<p>成果および今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度は全信協、関信協および県信協主催の研修に延べ6名の職員を派遣して、能力向上とスキルアップを図りました。 また、研修後には受講者を講師とする金庫内研修を実施し、金庫全体でのレベルアップと人材育成に取り組んでまいりました。 ・平成19年度の金庫内研修には延べ149名が参加いたしました。 なお、対象者を年齢別や業務の経験年数別に分けて行ったことで、参加者の理解度が向上し、効果的な研修を行うことができました。 ・研修は継続して行うことで効果が現れることから、今後も目利き力・分析能力のレベルアップと担当者のスキルアップを図るため、効果的な研修を実施して人材育成に取り組んでまいります。

地域密着型金融の取組み状況【 3】(平成19年4月～平成20年3月)

加茂信用金庫

<p>項目</p>	<p>地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>
<p>具体的活動</p>	<p>商工会議所等との連携 等</p>
<p>取組理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年10月の信用保証協会の責任共有制度導入に伴い、中小零細企業の資金需要に迅速に対応するため、同年11月から地元商工会議所や商工会と連携し、商工提携保証「アローズ」の融資内容の拡充や、商工提携保証「スクラム」および「かもしんきん提携保証 TK- , 」の新規取扱を開始するなど、商工会議所等との一層の連携強化に取り組むことといたしました。
<p>取組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 信用保証協会の責任共有制度導入による影響を抑え、地元企業の資金繰り安定化を図るため、加茂・五泉・新津の各商工会議所、田上・村松・白根の各商工会と連携を密にし、取引先に対して商工提携保証「アローズ」や「スクラム」等を積極的にPRして利用を推進いたしました。 日常活動においても、常に商工会議所、商工会の指導員とも連携して経営改善の指導・育成に取り組むとともに、県や各市町の制度融資等の活用にも積極的に取り組んでまいりました。 各地区の後援会活動や営業活動における地域情報の収集を通じて、顧客ニーズにあった金融サービスの提供を心掛けてまいりました。 当庫取引先の若手経営者の組織「大関倶楽部」においては、経営勉強会や優良企業視察等の活動を通じて経営者としての資質向上を図り、地元経済の次世代を担う若手経営者の育成を支援してまいりました。
<p>成果および今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度は取引先でもある商工会議所等の会員に対して「アローズ」を中心に積極的に支援した結果、平成20年3月末での取扱実績が全店合計で37件、貸出総額102百万円となりました。 地元の商工会議所等とは長年協力関係を維持し、共に地域密着を図り地元企業の支援・育成に取り組んでまいりました。 今後も商工会議所等と連携を密にして経営指導や経営改善に取り組むとともに、新規創業や企業再生、商店街活性化等についても連携して支援を行い、地域経済の発展に貢献してまいります。 平成20年度からは、生活環境の向上や地球環境保護および介護福祉の需要に対応すべく、当金庫独自の新制度融資「環境・福祉支援資金」(資金用途：地球環境向上のための設備および介護福祉に関する資金、融資金額：500万円以内、融資期間：5年以内、金利：実行時の長期プライムレートと同率(固定金利))を新設し、地域住民の生活環境向上に向けた積極的な支援に取り組んでおります。